

子どもがかかりやすい伝染病とその取り扱い

愛の泉保育園

| | 病名 | 主な症状と経過 | 休園の目安 | 感染しやすい期間 |
|-------------|---|--|--------------------------------------|---|
| 登園許可書が必要な病気 | 麻疹 (はしか) | 咳、鼻水、くしゃみではじまり、つづいて発熱。いったん熱が下がって、さらに上がると同時に発疹。口の中にコプリック班。 | 解熱した後3日を経過するまで | 初期段階の症状を発症し始める3～5日が感染力は強く、その後徐々に感染力は弱まっているが、発疹期を終え、解熱後3日を経過しても、数日間はウイルスを排出します |
| | 風疹 (三日ばしか) | 始め軽い発熱。同時にこまかい発疹が全身に出る。首、後頭部、耳後リンパ腺が腫れる。3～4日で発疹が消える。 | 発疹がなくなるまで | 発病の約7日前から、発疹が現れて少なくとも5日後までの間 |
| | 百日咳 | 1～2週間にわたり、咳、鼻水、くしゃみ、つづいて特有の咳(コンコン、ヒューヒュー)が2～3ヶ月続く。 | 特有の咳がなくなるまで | 発症してから約3週間は菌の排出が最も強い |
| 登園願いが必要な病気 | 水痘 (水ぼうそう) | 発熱(出ない場合もある)。周りに赤みのある丘疹が、3～4日で次々に水泡になり2～3日でかさぶたになる。かゆみが強い。 | すべての発疹がかさぶたになるまで | 発疹のでる前1日～水泡がかさぶたになるまでの約7～10日間 |
| | 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) | 発熱(出ない場合もある)。耳の下、顎の下が腫れる。口をあけたり食べたりすると痛む。 | 耳下腺の腫れがひくまで。発症後5日間は経過していること。 | 耳下腺の腫れる前7日～腫れた後9日間 |
| | 咽頭結膜熱 (プール熱) | 高熱、咽頭痛、目やに、眼の充血。首のリンパ腺が腫れる。 | 主症状(発熱・目の充血・めやに・咽頭痛)が消失し、2日を経過するまで | 潜伏期間が5～7日、有症状期間は3～5日、回復後は2週間程度この期間はすべて感染期間にあたり、他の人にうつしてしまう可能性のある期間 |
| | 流行性角結膜炎 | 目がゴロゴロして痛がゆい。眼の充血、目やに、涙目、まぶたの腫れと痛み。 | 主要症状(目が痛い・かゆい・目の充血・目やに・涙目・まぶたの腫れと痛み) | 発症して1週間くらいはウイルスの感染力がまだ強い |
| | インフルエンザ | 風邪の中でも最も重い症状(高熱、咳、頭痛、関節痛) | 発症後5日かつ解熱した後3日を経過するまで | 発熱後3～4日 |
| | 手足口病 | 手、足に水疱ができる。口の中に白い潰瘍状の斑点ができる。 | 平熱に戻り、すべての発疹がかさぶたになるまで | 手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間 |
| | 伝染性紅斑 (りんご病) | 両ほほに蝶のような形の紅班。 | 全身状態が良いこと | 発疹出現前の1週間 |
| | 溶連菌感染症 | 突然の高熱、つづいて全身に発疹(口の周りにはでない)のどが赤く、舌はいちご状になる。熱が下がると皮膚が膜状にむけてくる。 | 抗菌薬内服24～48時間経過していること | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間 |
| | RSウイルス感染症 | 発熱、鼻汁、絶鳴、呼吸困難 | 呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと | 呼吸器症状のある間 |
| | ウイルス性胃腸炎 (ノロ、ロタ、アデノウイルス等) | 嘔吐。酸味の強い白色水様便。 | 主要症状(発熱・下痢・嘔吐)が消失後、2日経過するまで | 症状のある間と、症状消失後1週間 (量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要) |
| | 伝染性膿痂疹 (とびひ) | 虫さされ等をかきこわして、細菌がつき、水疱、膿疱となる。かゆみが強い。膿疱が破れ、新しい皮膚にとびひする。 | すべての発疹が乾燥するまで | 3日間感染力が強い |
| ヘルパンギーナ | 突然の発熱に続いて、上あごの奥の方の粘膜に赤い小さな水疱ができる。3日前後で熱が下がり、発症から1週間ほどで回復。 | 発熱や口腔の水疱の影響がなく普段の食事がとれること | 急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているため注意が必要) | |